

総務省承認番号 No. 26040

承認期限 平成17年9月25日まで

秘

第13回出生動向基本調査

結婚と出産に関する全国調査

〔独身の方へのご質問票〕

(平成17年(2005年)6月1日現在の事実)

対象となられた皆さまへ

このたびは調査にご協力いただきまして、まことにありがとうございます。

この調査は、わが国における結婚、出産、子育ての現状と課題を調べるために、国立社会保障・人口問題研究所が全国的に行う標本調査です。これからの日本社会の見通しや施策を考える上で、大切な資料となるものです。この調査票への回答は統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は法律で固く禁じられています。お答えいただいた内容が他にもれることは絶対にありませんので、どうぞ安心してありのままをお答えくださいますようお願いいたします。

(調査の詳しいご説明は、表紙裏をご覧ください)

なお、この調査票の配布と回収(密封封筒)には、都道府県知事(市長・区長)の任命を受けた調査員が皆さまのお宅にうかがいます。ご不明の点は調査員におたずねください。

記入上のお願い

- この調査票は18歳以上50歳未満の独身の男性および女性に答えていただくためのものです。
- 平成17年(2005年)6月1日現在の事実について、ご記入ください。
- 回答のしかたは、あてはまる番号に○をつけるものと、必要なことごとを書きこむものがあります。
- 回答後の調査票は、回収用の封筒に入れ、ノリづけしたうえで調査員にお渡しください。封筒はそのまま国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、決して途中で開封されることはありません。

厚生労働省
国立社会保障・人口問題研究所

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3
日比谷国際ビル6階

電話 (03) 5253-1111 内線4472 / 4473
<http://www.ipss.go.jp>

調査員記入欄

都道府県	保健所	地域コード			

§ 調査についてのご説明

◇ 出生動向基本調査とは？

この調査は、国民の皆さまの結婚、出産、子育てについて調べる全国標本調査で、ほぼ5年ごとに実施されてきました。今回は13回目にあたります。ご夫婦の方への調査と、独身の方への調査の2種類があります。

◇ 調査の目的

国や自治体は、さまざまな施策を実施するにあたって、住民のおかれた状況や問題を把握しておかなくてはなりません。この調査では、国民の皆さまの結婚、出産、子育ての状況を把握し、これにかかわる政策的な課題を社会科学的立場から探ることが主な目的です。とりわけ今日の日本では少子化が進行し、これにともなう人口の減少と高齢化、そしてひとりひとりの生き方の変化は、今後の日本社会に大きな影響を与えることが指摘されています。この少子化の現状を把握し、原因を究明することは、本調査の大切な課題のひとつです。

◇ 調査の対象

この調査は、全国から無作為に選ばれた地域にお住まいの方々を対象としており、以下の2つのグループの方々に別々の調査票を用意しています。

【結婚されている方へのご質問票】（黄色の調査票）

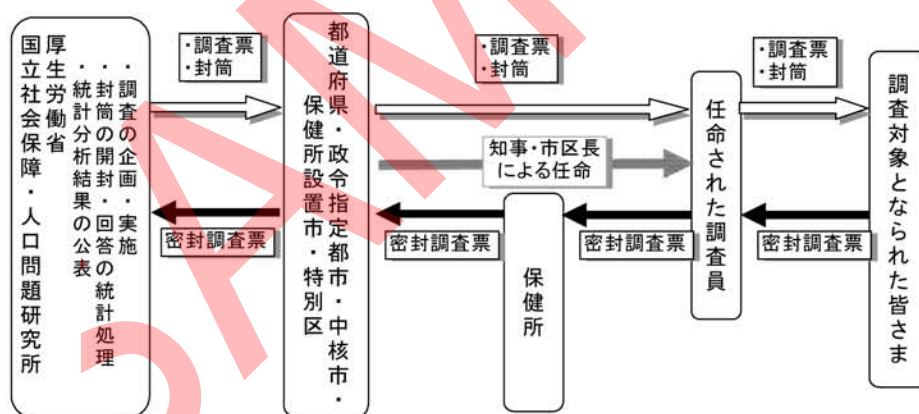
—— 届出の有無を問わず、結婚されている50歳未満の女性の方すべてが対象です。

【独身の方へのご質問票】（緑色の調査票）

—— 18歳以上50歳未満の独身の男性の方と独身の女性の方すべてが対象です。

◇ 調査のしくみ

この調査は、国立社会保障・人口問題研究所（厚生労働省の付属機関）が、統計報告調整法に基づく総務大臣の承認を受けて、国、都道府県（または政令指定都市・中核市・保健所設置市・特別区）、地域の保健所と連携して実施します。調査は、知事（市長・区長）から任命された調査員が皆さまのお宅にうかがい、調査票の配布、および回答いただいた調査票（封筒に入れて密封したもの）を回収する方法で行います。



◇ プライバシー・個人情報の保護について

この調査票上の回答はすべて統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は「統計法」という法律で固く禁じられています。皆さまに回答いただき回収用封筒に密封された調査票は、調査員が回収した後も開封されることなく国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、その後は厳重な管理の下に置かれます。統計を作成する過程では個人を特定する情報はすべて除外されます。したがって、個人情報もれることは絶対にありません。

◇ その他のお問い合わせ

回答方法などについてのお問い合わせは、調査員におたずねください。また、本調査の詳細情報、これまでの調査結果、よくあるお問い合わせなどについては、インターネット上に出生動向基本調査のホームページを開設して紹介しています。そちらをご参照ください。

出生動向基本調査ホームページ・アドレス（対象者用） <http://www.ipss.go.jp/nfs13/>

問1 あなたの(1)出生年月を記入し、(2)性別の欄は、あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 出生年月	(2) 性別
1. 昭和 _____年__月 2. 西暦 _____年__月	1. 男 2. 女

問2 あなたが(1)最後に卒業された(あるいは在学中の)学校と、(2)卒業・在学の別について、あてはまる番号に○をつけてください。また、卒業された方は(3)卒業したときの年齢を()内に記入してください。

(1) 卒業した(または在学中の)学校	(2) 卒業・在学の別
あてはまる番号に○ 1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修学校(高卒後) 5. 短大・高専 6. 女子大学 7. 共学の大学 8. 大学院 9. その他 具体的に()	あてはまる番号に○ 1. すでに卒業 → (3)卒業した年齢 数字を記入 ()歳 2. 現在、在学中(休学等を含む)

問3 あなたとあなたの(ご両)親のお仕事についておたずねします。あなたについては a、b の2つの時期について、また、(ご両)親については現在について、それぞれ(1)おつとめの状況、(2)職種、(3)おつとめ先の従業員数のあてはまる番号に一つずつ○をつけてください。

おたずねの対象者 ↓	おたずねの時期 ↓	(1)おつとめの状況						(2)職種							(3)おつとめ先の従業員数 (本社・支社を含む)						
		1 正規の職員	2 パート・アルバイト	3 派遣・嘱託・契約社員	4 自営業主・家族従業者・内職	5 無職・家事	6 学生	1 主として農林漁業	2 農林漁業以外の自営業	3 専門職	4 管理職	5 事務職	6 販売・サービス職	7 工場などの現場労働	1 1人	2 10人	3 30人	4 100人	5 300人	6 1000人以上	7 官公庁
あなた	a. 最後に学校を卒業した直後*	1~6のあてはまる番号に○をつける 1~4に○をつけたときは右の欄に進む						(1)で1~4に○をつけたときだけ あてはまる番号に○をつける							(1)で1~4に○をつけたときだけ あてはまる番号に○をつける						
	b. 現在	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						

【(ご両)親がご健在の方のみ記入】

お父さま	c. 現在	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						
お母さま	d. 現在	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						

*在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

●現在お仕事をもちの方にはうかがいます。お仕事をもちでない方は問5に進んでください。

問4 あなたの現在のお仕事について、次の(1)から(4)までの項目について、数字を記入し、あてはまる番号に○をつけてください。

あなたの仕事について (現在仕事に就いている方)						
(1) 一週間の平均的な労働時間	週あたり平均 <input type="text"/> 時間					
(2) ひと月あたりの収入※(税込み)	ひと月約 <input type="text"/> 万円					
(3) 現在の仕事の継続年数	およそ <input type="text"/> 年 1年未満の場合は、1年としてください					
(4) 今後の継続の見通し	<table border="0"> <tr> <td>1. 当分は今の仕事を続ける</td> <td rowspan="4"> 予想される理由 (あてはまる番号に○) 1. 仕事・職場の事情 2. 結婚を機に 3. 出産を機に 4. 親族の介護のため 5. 上記以外の事情 </td> </tr> <tr> <td>2. 転職の可能性あり</td> </tr> <tr> <td>3. 退職の可能性あり</td> </tr> <tr> <td>4. わからない</td> </tr> </table>	1. 当分は今の仕事を続ける	予想される理由 (あてはまる番号に○) 1. 仕事・職場の事情 2. 結婚を機に 3. 出産を機に 4. 親族の介護のため 5. 上記以外の事情	2. 転職の可能性あり	3. 退職の可能性あり	4. わからない
1. 当分は今の仕事を続ける	予想される理由 (あてはまる番号に○) 1. 仕事・職場の事情 2. 結婚を機に 3. 出産を機に 4. 親族の介護のため 5. 上記以外の事情					
2. 転職の可能性あり						
3. 退職の可能性あり						
4. わからない						

※ 給与収入の場合は、ボーナス等も含めた、ひと月あたりの平均額を記入してください。
事業収入の場合は、売上から諸経費を差し引いた、ひと月あたりの平均額を記入してください。

●すべての方に、あなたのご両親のごきょうだいについてうかがいます。

問5 あなたの(ご両親)の(1)出生年、(2)現在のあなたとの同居/別居、(3)最後に卒業された学校、(4)昨年1年間のおよその年収についておたずねします。あてはまる番号に○をつけ、数字を記入してください。

	お父さま	お母さま
(1) 出生年	[1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 西暦] _____年	[1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 西暦] _____年
(2) 現在のあなたとの同居/別居	1. 同居 2. 同じ市区町村内で別居 3. それ以外の地域で別居 4. すでに亡くなられた	1. 同居 2. 同じ市区町村内で別居 3. それ以外の地域で別居 4. すでに亡くなられた
(3) 最後に卒業された学校	1. 中学校・旧制高小・旧制小学校 2. 高校・旧制中学校 3. 短大・高専 4. 大学・大学院 5. その他 ()	1. 中学校・旧制高小・旧制小学校 2. 高校・旧制中学校 3. 短大・高専 4. 大学・大学院 5. その他 ()
【(ご両親)親がご健在の方のみ記入】		
(4) 昨年1年間のおよその年収 (年金や副収入を含む)	1. 0～50万円未満 2. 50～100万円未満 3. 100～200万円未満 4. 200～300万円未満 5. 300～400万円未満 6. 400～600万円未満 7. 600～800万円未満 8. 800～1,000万円未満 9. 1,000万円以上	1. 0～50万円未満 2. 50～100万円未満 3. 100～200万円未満 4. 200～300万円未満 5. 300～400万円未満 6. 400～600万円未満 7. 600～800万円未満 8. 800～1,000万円未満 9. 1,000万円以上

問6 あなたの兄弟姉妹の数を()内に記入してください(亡くなられた方は含めません)。

兄 () 人 いない場合は0を記入	姉 () 人 いない場合は0を記入	弟 () 人 いない場合は0を記入	妹 () 人 いない場合は0を記入	あなたを含めて合計 ()人きょうだい
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------

★このページでは、あなたの結婚経験をはじめ私的な経験や健康などについてうかがいます。
立ち入った内容も含まれますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

問7 あなたはこれまでに結婚（届け出をしたもの）をしたことがありますか。

1. ない	→ 問9へ
2. ある（離別した）	
3. ある（死別した）	

●結婚経験のある女性の方にはうかがいます。結婚経験のない方や男性の方は次（問9）へ進んでください。

問8 あなたの最初の結婚と、その結婚で生んだお子さんについて、あてはまる番号に○をつけ、年月および人数を記入してください。

(1)最初の結婚生活を始めた年月	(2)同居をやめたとき、または死別の年月	(3)最初の結婚で生んだお子さんの数
[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年__月	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年__月	(_____)人 いない場合は0を記入

●すべての方にはうかがいます。

問9 あなたはこれまでに同棲の経験(特定の異性と結婚の届け出なしで一緒に生活したこと)がありますか。

1. ない
2. 以前はあるが現在はしていない
3. 現在している

問10 あなたはこれまでに(1)異性と性交渉をもったことがありますか。また、もったことがある場合には、一番最近の経験では(2)避妊を行いましたか、また(3)その方法はなんですか。あてはまる番号に○をつけてください。

(1)異性と性交渉の経験	(2)避妊の実行 (一番最近の経験について)	(3)避妊の方法
1. 過去1年以内にある 2. 過去1年以内にはないが、以前にはある 3. ない	1. 避妊をした 2. 避妊をしなかった	1. コンドーム 2. オギノ式・基礎体温法 3. ピル（経口避妊薬） 4. 性交中絶（膣外射精） 5. その他（_____）

●女性の方にはうかがいます。男性の方は問12へ進んでください。

問11 あなたは現在、妊娠や出産に関わる健康に、問題や障害を感じていることはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

あてはまる番号に○をつける	1. 月経（生理）に問題がある
	2. 婦人科系の障害*がある
	3. 更年期障害がある
	4. 性生活に問題がある
	5. 不妊の心配がある
	6. その他（_____）
	7. 上記のような問題や障害はない

※ 婦人科系の障害とは、排卵障害、卵巣嚢腫、子宮筋腫、子宮内膜症、感染症などを含みます。

●ここからは、すべての方に結婚や将来についてのお考えをうかがいます。

問12 今のあなたにとって、結婚することにはなにか利点があると思いますか。左下のワクのあてはまる番号に○をつけてください。また、1. に○をつけた方は右側のワクの中から具体的な利点を二つまで選んで右の回答欄に番号を記入してください。

どちらかの番号に○	今のあなたにとって結婚することは	右の回答欄に番号を記入	1. 経済的に余裕がもてる 2. 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる 3. 精神的な安らぎの場が得られる 4. 現在愛情を感じている人と暮らせる 5. 自分の子どもや家族をもてる 6. 性的な充足が得られる 7. 生活上便利になる 8. 親から独立できる 9. 親を安心させたり周囲の期待にこたえられる 10. その他 ()	回答欄	
	1. 利点があると思う 2. 利点はないと思う			最大の利点	第二の利点

問13 それでは逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。左下のワクのあてはまる番号に○をつけてください。また、1. に○をつけた方は右側のワクの中から具体的な利点を二つまで選んで右の回答欄に番号を記入してください。

どちらかの番号に○	今のあなたにとって独身生活は	右の回答欄に番号を記入	1. 行動や生き方が自由 2. 異性との交際が自由 3. 金銭的に裕福 4. 住宅や環境の選択の幅が広い 5. 家族を養う責任がなく、気楽 6. 友人などとの広い人間関係が保ちやすい 7. 職業をもち、社会とのつながりが保てる 8. 現在の家族とのつながりが保てる 9. その他 ()	回答欄	
	1. 利点があると思う 2. 利点はないと思う			最大の利点	第二の利点

問14 下のワクの中に女性の生き方のタイプがいくつか示してあります。それぞれ、最も近いと思われるタイプの番号を下のワクから選び、回答欄に記入してください。

【女性の方へ】 (1) あなたの理想とする人生はどのタイプですか。
 (2) 理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか。

女性回答欄	(1) 理想とする人生	(2) 実際になりそうな人生
-------	-------------	----------------

【男性の方へ】 パートナー(あるいは妻)となる女性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか。

男性回答欄	パートナー(あるいは妻)となる女性に望む人生
-------	------------------------

上の回答欄に番号を記入	1. 結婚せず、仕事を続ける 2. 結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける 3. 結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける 4. 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ 5. 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない 6. その他 ()
-------------	---

● すべての方に、結婚、男女関係、家庭、子どもについてのお考えをうかがいます。

問15 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、下に例として①～⑩のような考え方を示しました。それぞれについて、あなたご自身はどのようにお考えでしょうか。それぞれの右の欄のあてはまる番号に○をつけてください。

	(左の考え方に)			
	1 ま っ た く 賛 成	2 い ど え ち ば ら 賛 か 成 と	3 い ど え ち ば ら 反 か 対 と	4 ま っ た く 反 対
① 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	1	2	3	4
② 男女と一緒に暮らすなら結婚すべきである	1	2	3	4
③ 結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	1	2	3	4
④ どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	1	2	3	4
⑤ 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	1	2	3	4
⑥ 結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	1	2	3	4
⑦ 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
⑧ 結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4
⑨ 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	1	2	3	4
⑩ いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	1	2	3	4

問16 あなたのご両親や友人などについて、おたずねします。下の①～⑤について、右の欄のあてはまる番号に○をつけてください。質問項目に該当する相手がいない(いなかった)場合は、5に○をつけてください。

	1 あ て は ま る	2 あ ど ち ら は ま か と い え ば	3 あ ど ち ら は ま か と い え ば	4 あ て は ま ら な い	5 該 当 し な い
	それぞれ番号1つに○				
① 子どもの頃、父はよく家事をしていた	1	2	3	4	5
② 両親のような夫婦関係をうらやましく思う	1	2	3	4	5
③ 結婚しているまわりの友人をみると、幸せそうだと思う	1	2	3	4	5
④ 同年代の友人やきょうだいに、子どもを持っている人が多い	1	2	3	4	5
⑤ 周囲の人やマスコミから、結婚や出産・子育てはたいへんだと聞くことが多い	1	2	3	4	5

●すべての方にうかがいます。

問20 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

- | |
|-----------------|
| 1. いずれ結婚するつもり |
| 2. 一生結婚するつもりはない |

●ここからあとの質問は、問20で1に○をつけた方（「いずれ結婚するつもり」の方）にうかがいます。2に○をつけた方はここで終わりです。末尾のご意見の欄に進んでください。

問21 同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

- | |
|-------------------------------|
| 1. ある程度の年齢までには結婚するつもり |
| 2. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない |

問22 それでは今から一年以内の結婚に関してはどのようにお考えですか。

- | |
|------------------------|
| 1. 一年以内に結婚したい |
| 2. 理想的な相手が見つければ結婚してもよい |
| 3. まだ結婚するつもりはない |

問23 あなたは何歳ぐらいのときに何歳ぐらいの相手と結婚したいと思いますか。希望する年齢を（ ）内に記入してください。

自分（ ）歳ぐらいのときに
相手（ ）歳ぐらいの人と結婚したい

問24 現在交際している人と（あるいは理想的な相手が見つかった場合）一年以内に結婚するとしたら、なにか障害になることがあると思いますか。左下のワクのあてはまる番号に○をつけてください。また、1に○をつけた方は右側のワクの中から、具体的な障害を二つまで選んで右の回答欄に番号を記入してください。

どちらかの番号に○	一年以内に結婚するとしたら	右の回答欄に番号を記入	1. 結婚生活のための住居	回答欄	
	1. 障害になることがあると思う		2. 結婚式（挙式や新生活の準備のための費用）		
	2. 障害になることはないと思う		3. 親の承諾	最大の障害	第二の障害
			4. 親との同居や扶養		
			5. 学校や学業上の問題		
			6. 職業や仕事上の問題		
			7. 年齢上のこと		
			8. 健康上のこと		
			9. その他（ ）		

